

富士山 5/19~21 武部慎

富士山に行くチャンスを伺つたら、まんて平日に休めることにあり、急いで準備をして出発する。(車から2時間で新五合目に着ける。)

5月19日 0

夜9時頃東富士山莊に着き、一年ぶりにヒゲのおやじさ
人（米山さん）に挨拶し、山の状況を聞く。明日は計画通
り久須志岳、寄る。では二日は成耗ガ岳を滑子ごとに決
めた。

5月20日(木) ①, ②, ③, ●

朝寝坊をいつうにと堅張していたせいか、あまり寝起れなか、た。ツエルト、エラフカバー、羽毛服とギタには1セパーカの用意で出発す了。

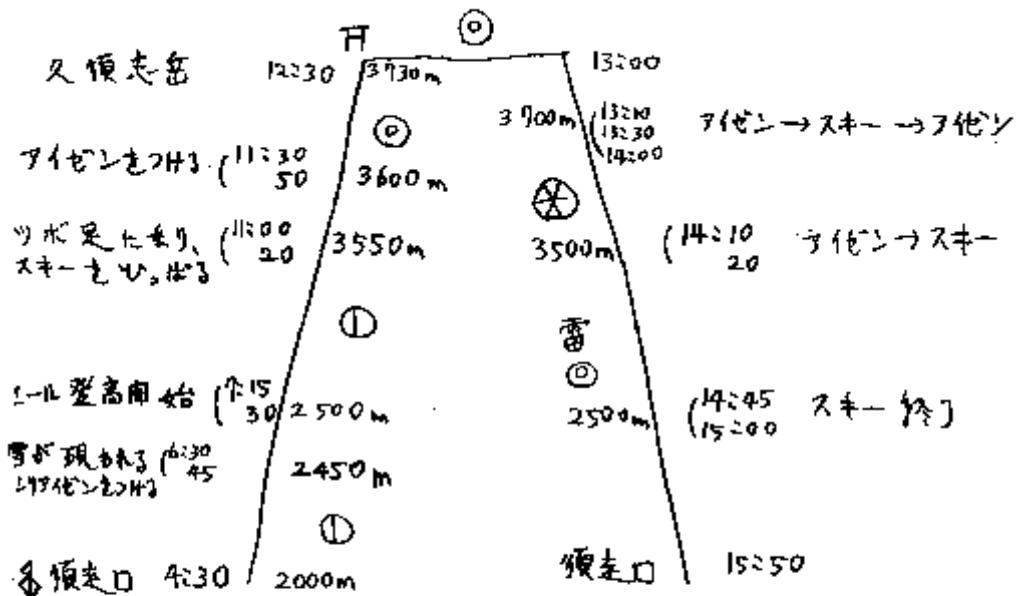
五月二十一日，星期一

きりうつ疲れの為に寝坊し、物音で目が覚めた5時半。物音の人はも
の分だった。急いで朝食を食べていいか?「いいえ。よく登
出発するよ?」「きりうも登りました。」……テント内と
外で簡単な挨拶を交わす。きりうは軽く

ていいよと、「オ、小屋が見える。」見慣らしある雪と地膚でや
・も滑れると鬼、走。もう3時であり、雪はクラストして
きていい。(ここはアルト一セ道の脇に路傍が出ていた)を
デコボコのクラストしかけた雪を滑る。300m位たま
ると雪も適度に堅さになりホーリングしていく。2800m位
で雲の中から朝の人へ会い、挨拶を交わす。僕はスキーを
のゼルートが違うから飛んだ。今日は朝の登り口を目指し
て、雲の中を滑る。雪の下は水が流れていい所もあり注意
を要する。なんとか無事に朝、スキーで登り出した所に着
いた。

すずしり下山道を下、アーチと下から登ってく人がい
た。それは、シリアイゼンを設計した大貴さんであり、挨
拶から左人と、僕のシリアイゼンを新しい物に替えてくれ
た。

5月20日



5月21日

